独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第34回契約監視委員会審議概要

開催日	令和８年10月26日（月）
出席委員 （敬称略）	【委員長】稲葉喜子　　公認会計士 【委　員】明石行生　　立命館大学教授 金子雄一郎　日本大学教授 石井　崇　　弁護士 岸田　潔　　京都大学大学院教授 伊藤隆行　　独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構監事
審議事項	(1) 令和７年度　一者応札・一者応募案件の検証・分析（174件） (2) 令和７年度　競争性のない随意契約の点検・見直し（91件）
審議概要	別紙１のとおり
審議結果	指摘事項なし

別紙１

(1) 令和７年度　一者応札・一者応募案件の検証・分析

北海道新幹線、共用区間高速化に向けた信号確認試験

質問・意見等	回答
技術者の要件として、DS-ATC 車上装置の試験評価における業務経験が１件以上として、入札参加のハードルを下げたということだが、メーカー以外でこの要件を満たせる者はどれくらいいるのか。	業務経験を積む機会はそれほど多くないとは思われるが、新しい車両を作る際の試験走行や、北陸新幹線の敦賀延伸時の試験などで業務を担当していれば構わないため、そういった業務を主として担当している方であれば、ハードルは高くない要件と考えている。
２つの区間で速度アップの検査をしたとのことだが、最初からまとめて全体を行うことはできなかったのか。	北海道新幹線は在来線との共用区間を挟むため、共用区間で初めから 260 ㎞/h 走行して良いこととはなっておらず、できるところから段階的に引き上げていくこととなったため、分割して行うこととしたものである。

北海道新幹線、昆布橋りょう（PC けた）

質問・意見等	回答
不落後の要件緩和として、道路工事の実績を認めることとしたのか。	道路工事の実績は、本件ではなく、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の最初の PC けた工事から認めている。今回は、緩和策として見積活用方式を採用した。
ロットを分けて発注して応札があったということだが、一者応札であることには変わらない。ロットを大きくして応募してくる者もあり、ケースバイケースで検討いただきたい。	
見積活用方式によって、予定価格を類推しやすくなる恐れはないか。	見積活用方式に限らず、どのような歩掛で積算するかなどの積算条件等は広く公表しているため、当該方式の採用により予定価格を類推しやすくなるということにはならないと考えている。

北陸新幹線、小松市・加賀市間川道整備

質問・意見等	回答
施工箇所が点在しているが、分割発注して競争性を高めることは検討したか。	北陸新幹線の開業後に下回りの工事を何件かに分割して発注しているが、本工事は一番規模が小さく、これ以上分割することは難しかった。
参加者の立場からすると、工数が多い作業に見え、	参考にする。

参入意欲が高まりにくいように思える。良い発注内容を検討いただきたい。	

中津川鉄道建設所の自動車管理業務委託

質問・意見等	回答
入札段階で配置予定者の名簿を求めないといった緩和はできないか。落札から業務開始までに資格を満たす運転手を配置させることで、運転手手配のための時間確保や、提出書類の不備防止になると思われる。	実務上は、病気などの事情によって配置予定者の差し替えは認めており、最初から誰でもよいと要件を緩和するところまでは考えていなかった。
車両管理業務は、他省庁でも発注が行われており、一番緩和しているような事例を参考にできるのであれば、取り入れることを検討いただきたい。	
中津川単独ではなく、新横浜や名古屋などの他のエリアの業務もまとめて発注することで競争性を高められるのではないか。	広範なエリアの業務をまとめると、大手企業しか対応が難しくなるのではないかという懸念があり、エリアで区切って発注している。
競争性の観点から、発注規模を大きくすることも一つの方法として検討していただきたい。	
運転手の年齢や地域要件が厳しいように見えたが、緩和することはできないのか。	65 歳以上でも運転できることの証明を提出してもらえれば問題ない。１年以上の通算についても、愛知、岐阜、長野のどこかを足し合わせて１年あれば構わないとしており、そこまで厳しいものではないと考えている。当該エリアで初めて運転する人だと不安があり、現行の要件であれば厳しいものではないという認識である。

⑵ 令和７年度　競争性のない随意契約の点検・見直し

新幹線車両等の譲渡

質問・意見等	回答
「取引実態を把握することや機構独自で積上積算を行うことは困難」とあるが、本件は国からの調査業務に基づく契約とのことで、国から受注する際の金額はどのように積算したのか。	当該車両の所有者から参考見積を徴取している。
金額の妥当性のチェックのため、提出された見積書に対して機構として確認していることはあるか。	本件については独自のチェックが困難であることから、事前に参考見積を徴取したものである。

神奈川北部整備効果基礎調査

質問・意見等	回答
鉄道に関するこのような調査については、当該業者が精通しているということで随意契約の判断になったのかと思うが、データ以外のところの手法については、他のコンサルなどでも精通しているのかと思う。他の会社がより積極的に応募しやすくなる形にできないかは検討したのか。	国交省の答申時点で、モデルの作り方やパラメータの設定の仕方、データの整理の仕方などが示されているが、それに基づいて他者がプログラムを組むところから始めるには相当の時間が必要で、この履行期間内での構築は難しいと考えている。 なお、今回は当該業者が東京圏の 198 号答申時点でモデルを作っていたことが当該業者を特定した理由であり、他の地域の場合だと事情は異なる。
データもモデルも開示されているのか。ある程度開示されるのであれば、手法的には出来合いの統計学的な手法を使っているので、他の会社でもできるのではないか。	モデル自体は開示されておらず、モデルを作るときの考え方は開示されている。
令和５年度にも同様の発注を行っているが、今回は時点更新的な内容か。新規なのか継続なのかというところは仕様書等で明示しているのか。	令和５年度の業務とは、内容としても継続性のあるものである。仕様書には、198 号答申のモデルを使用した形で行うことを記載しており、既に構築してきたモデルを活用して、時点更新を行う発注となっている。
特定者以外でもできる業務内容なのであれば、そもそも随意契約としていることがおかしいのではないか。特命随契は事業の性質上競争を許さない場合にできるものであるが、その理由はどこにあるのか。	履行期間内に、これだけの推計作業を行うためのモデル構築を行うことは、他者では難しいと判断したものであり、他にできる者がいる可能性もあるかもしれないということで、前年度までは参加者の有無を確認する公募手続きを行ってきたところである。
本件は、特定業者が国交省の審議体に基づき既にプログラムを組んでいて、他の業者であってもそのプログラムを供与されれば同じように実施できるだろうが、知的財産権その他の理由でそのまま供与はできないので、当該業者以外は自分でプログラムを作らなければならず、求める履行期間内で対応することは難しいことから、特定業者と随意契約を行ったという理解でよいか。	そうである。

北海道新幹線、鉄製トロ他保守・点検３

質問・意見等	回答

鉄製トロを調達する時点で、部品図や設計図も成果物として求め、それを公開できるようにすれば、こういった保守が他者でもやりやすくなるのではと思うが、実際にそういったことは難しいのか。	メーカーによって、鉄製トロの大きさは同じであっても、フレームや重心の考え方などは異なるようである。実際に難しいかどうかはやったことがないので分からない。今後検討の余地はあるかもしれない。

北海道新幹線、工事用機械装置（特種車）保守（その３）

質問・意見等	回答
この特種車を調達したときは、何者かある中から、競争入札で購入したものなのか。	一般競争で調達したが、結果的には一者応札だった。
それであれば、ディストリビューター権を持たないような他のメーカーを探すということも、そもそも難しかったということか。	特種車に使っているウニモグという車両自体を特定して調達した訳ではないが、性能が国内メーカーより優れており、他の者は参加していただけていない状況である。

〇主なご意見（再掲）

（一者応札・応募）

・北海道新幹線、昆布橋りょう（PC けた）

・北陸新幹線、小松市・加賀市間川道整備

・中津川鉄道建設所の自動車管理業務委託

発注ロットは施行箇所や履行箇所を切り分けたほうが事業者にとって受注しやすくなる場合もあれば、まとめて発注してロットを大きくしたほうが受注しやすくなる場合もあり、工事や業務の内容を踏まえつつ、ケースバイケースで検討いただきたい。

・中津川鉄道建設所の自動車管理業務委託

参加申請時の提出資料を緩和することで、応札しやすくなることも考えられると思われる。他機関の事例なども参考にして、緩和することも検討いただきたい。

（競争性のない随意契約）

・神奈川北部整備効果基礎調査

必要な基礎データは公表されており、モデルの考え方も開示されている状況では、受注者以外の事業者が参入する余地はあるように思われる。改めて他者の参入余地などを検討して、随意契約による契約の妥当性について再検証いただきたい。

・北海道新幹線、鉄製トロ他保守・点検３

当初契約で設計図や詳細図等も納品させることができれば、保守点検時にそれを提示し、納入業者以外でも保守業務を受注できる余地もあるかもしれない。発注時にそういった対応が可能か検討いただきたい。